

柳井医療センター だより

令和6年 4月

〈発行所〉
国立病院機構
柳井医療センター
〈発行責任者〉
宮地 隆史

ご挨拶 院長 宮地 隆史

新年度を迎えるにあたりご挨拶いたします。

当院でも4月から多くの新しい職員を迎え入れています。新しく社会人になる方、他の国立病院機構の病院等からの異動で来られる方など個々の背景は様々ですが、当院での業務をそれぞれの専門性を生かしつつ、向上心をもって研鑽を積み、地域医療に貢献して頂ければと思っています。

さて、2024年度は診療報酬改定の年です。入院基本料等の本体部分のプラス改定分は職員の賃上げに用途が絞られています。これは医療職への人材確保のためにはとても重要なことです。一方で人件費の高騰、良質な医療を行うための高額な医療機器への投資、医療安全・感染対策、良好な療養環境の提供等には費用がかかるため健全な経営基盤が大切であることは言うまでもありません。当院では2024年8月より電子カルテの導入を予定しています。高額な投資、ランニングコストなど支出が多くなりますが、業務の効率化等により離職率の低下、医療安全対策の充実などが期待されます。紙カルテから電子カルテの移行に関してはトラブルが多々生じえますが、可能な限り皆様方に御迷惑をかけないようにスムーズな導入を目指しています。

当院は2015年8月に山口県より認知症疾患医療センターに指定されています。2024年2月に早期アルツハイマー病患者に対して疾患修飾薬であるレカネマブを県内で初めて導入しました。アルツハイマー病による軽度認知障害および軽度認知症の方に保険適応があり認知機能障害の進行抑制が期待されます。脳内に微小出血が多数ある場合や認知機能テストで一定の点数未満の場合は治療対象にならないこと、脳出血などの副作用の問題、治療効果が限定的であるなどの課題がありますが、適切な患者さんに適切に導入して参ります。

また山口県の難病医療提供体制において当院はこれまで難病医療協力病院の指定を受けておりましたが、2024年3月8日付で山口県より難病診療分野別拠点病院（神経・筋疾患群）の指定を受けました。当院の特徴を生かせるよう神経・筋難病の診断・治療および啓発活動を推し進めてまいります。

当院では2024年度も昨年度に引き続いて病院目標の一つとして、地域からそして職員からも“選ばれる病院”を目指す、ことを掲げています。職員一丸となって新年度も鋭意努力して参る所存ですのでご協力宜しくお願いいたします。

理 念

- 一 良質の医療を提供します
- 一 素晴らしい療養環境を提供します
- 一 患者満足度の向上に努めます
- 一 職員満足度の向上に努めます



新任医師の紹介



外科
もりうち としゆき
森内 俊行

この度は、広島大学より赴任して参りました、外科の森内俊行と申します。柳井市の地域医療に貢献すべく日々努力して参ります。よろしくお願い致します。

- 専門領域：消化器外科・外科
- 所属学会：日本外科学会（専門医）
日本消化器外科学会、日本内視鏡外科学会



脳神経内科
やまもと ふみか
山本 史佳

今年度より柳井医療センターで勤務させていただくことになりました、脳神経内科の山本史佳です。至らないところは多々あるかと思いますが、地域の方に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

- 専門領域・脳神経内科一般
- 所属学会：日本内科学会、日本神経学会

新任職員の紹介



事務部長
かどた やすお
門田 泰雄

この度、4月1日付で東徳島医療センターより赴任いたしました門田（かどた）と申します。四国を離れるのは2度目となり、山口県は初めてとなります。

当院は、神経難病・重度心身障がいを始めとする難治性疾患や透析、認知症の専門医療など幅広く地域から信頼される医療機関として努力しているところです。しかしながら、近年は医療や障害福祉サービスを取り巻く環境は益々厳しくなっており、病院運営も新たな局面を向かえていると考えております。

微力ではありますが、地域医療の充実化、健全で安定した病院運営、職員が働きやすい環境づくりなどに貢献できるように努めて参ります。どうぞご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

第9回 柳井医療センター公開講座開催



公開講座担当事務局

令和5年10月29日（日）アクティブ柳井にて4年ぶりとなる柳井医療センター公開講座が開催されました。コロナ禍になる前は定期的に年1回～2回行っておりましたが、ここ数年は開催を控えておりました。

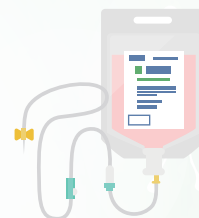
当日は健康チェックコーナーには開催時間1時間前以上に来院された方もおられ、市民の皆様の健康に対する意識の高さを感じ

られました。講座ははじめに井原健太郎柳井市長からご挨拶を賜り、当院の職員（医師2名・看護師3名）が幅広いテーマで講演を行いました。最終的には来場者数は115名と多くの方が来場され、盛会のうちに幕を閉じることができました。

認知症新薬・レカネマブ投与開始

～山口県内の病院で「初」～

令和6年2月20日、早期アルツハイマー病の新しい治療薬「レカネマブ」（商品名レケンビ）の点滴投与を山口県で初めて当院で70代女性に行いました。薬は2週間に1回、1年半程度投与予定です。



アルツハイマー病の新しい治療薬「レカネマブ」(商品名レケンビ)とは？

早期アルツハイマー病の治療に関しては画期的な新薬です。令和5年9月に厚生労働省によって承認され、12月に保険適用されました。

従来の薬は一時的な症状改善だけでしたが、このレカネマブは早期アルツハイマー病の原因となるアミロイドベータを減少させることができ、進行を遅らせることが期待できます。なお、投与に関しては、高度な検査が必要で、副作用が出る場合もあり得ます。また、合併症の可能性のある方には投与できないなど対象者が制限されています。

防災訓練について

令和6年1月1日発生した能登半島地震では、多くの病院が大規模な損壊被害を受けました。当院では、翌月防火訓練を行う予定となっており、現地病院職員が必死に被災者に向き合っている姿をみて、訓練の必要性や重要性を痛感しました。

当日は夜間5階病棟出火との想定で訓練が始まりました。緊迫した場面かつ限られた人数での確に迅速な行動することは難しいと思いますが、この訓練を通じて災害対策の意識を高めていきたいです。



柳井医療センターよもやまばなし

喫煙アンケートについて

患者サービス向上委員会

当院では毎年全職員対象に喫煙に関するアンケートを行って、会議のあとに病院幹部にその結果を発表しております。

昭和時代にはオフィスや電車などの公共機関で一般的に喫煙していたという、平成生まれのZ世代はびっくりすることと思います。現在、厚生労働省の2022年調査では、たばこを吸う人の割合は男性で25.4%、女性で7.7%です。30年前は男性で約55%、女性で10%ということでしたので、減少傾向にあります。ここ数年は下げ止まり傾向にあるそうです。また、コロナ禍で飲み会が減って、喫煙する人が少なくなったという話もあるそうです。コロナ感染症が喫煙率に影響しているとは驚きですね。

禁煙に関するアンケート

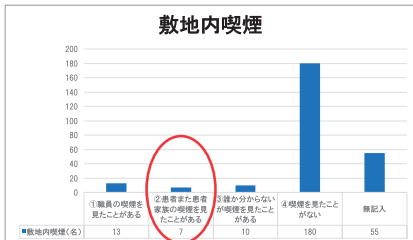


患者サービス向上委員会

たばこは高血圧と並んで、日本人が命を落とす2大リスク要因の一つだそうです。喫煙は予防可能な病因であることを考えると、喫煙の自由はもちろん認められていますが、医療従事者としてはなるべく控えたいところです。

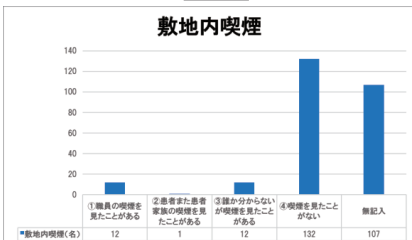
ちなみに、敷地内はすべて禁煙となっております（車内も含みます）。ですが、いまだにたばこの吸い殻が散見されます。ご協力よろしくお願いします。

敷地内禁煙について



- 喫煙が目撃された場所**
- ・駐車場・・・16 このうち13名が職員の喫煙発見と報告
 - ・車内・・・2
 - ・正面玄関入口前・・・2
 - ・遊歩道・・・1
 - ・外来トイレ(女子トイレ)・・・1

前年度



- 喫煙が目撃された場所**
- ・駐車場(官舎側含む)・・・8
 - ・正面玄関入口前・・・1
 - ・車内・・・3
 - ・時間外入口・・・4
 - ・カルテ庫近く・・・1
 - ・外の公衆電話のところ(毎日13時頃)・・・1

禁煙推進グループプラウンドの結果(令和5年度)



禁煙のうまくいった方法・アドバイス

- ・禁煙外来受診
- ・医師から言われて



- ・禁煙サポートの薬を使った
- ・代わりにガムを噛む
- ・運動や散歩でたばこを吸う時間を作らない



- ・自分次第、気持ちの問題
- ・本人の意思(絶対、喫煙しない!!という強い気持ちが大切)
- ・根性



- ・きっかけを見つけること、禁煙に興味をもつ
- ・子供が欲しかったから
- ・肌が老化するという新聞の記事
- ・金銭面(たばこの値段が上がったため)



地域医療連携室コーナー

第16回 訪問看護ステーション情報交換会開催報告

2月16日に第16回訪問看護ステーション情報交換会を開催いたしました。

今回は「難病患者・家族の心理支援～当事者と支援者が共に生きる関係性を目指して～」という内容で山口県立大学看護栄養学部看護学科講師松元悦子先生に講義をしていただき支援者にて日々の支援で感じている思いや気持ち、困難に感じていることなどをグループワークにて共有しました。

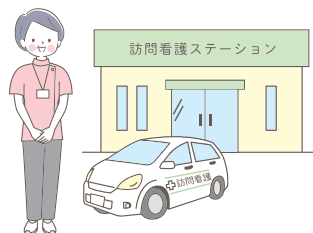
講義では、在宅療養生活を続ける難病患者の自分仕様の生活を再構築するプロセスを学ぶことができ、難病患者の語りを聴くことが大切であることを再認識しました。

また、その語りをチームで共有することが重要であると感じました。



グループワークでは、活発な意見交換がなされ多種多様な話が出ており支援者にとっても満足いくものとなったのではないのでしょうか。

難病患者の支援において困難に感じられる方が多くこのような場が地域支援者の語りの場、再確認の場になったことは非常に有意義だったと感じます。「患者の語りを聴くこと」は疾患問わず共通の支援かと思えます。支援者が語りを聴き、必要な部門に繋いでいくことで支援の輪が広がり強固になっていくことを期待します。



ご参加いただいた訪問看護ステーション等の皆様ありがとうございました。

令和5年度 難病研修会開催報告

2月20日に柳井健康福祉センターと共催で令和5年度難病研修会を開催しました。例年取り組んできた災害対策について地域で少しずつ前に進み出している柳井圏域ではありますが、今回は市町において災害支援の中心的な役割を担う担当者が、取り組む事例等を通じ平時における住民の自助を高める関りの視点や具体的な作成の手順、取り組みを検討する機会となりました。

参加者は、市町防災危機管理や障害福祉、保健医療福祉関係者にて研修を行っています。柳井市の取り組み報告・宮地院長の講話のあと各グループにて事例をもとに演習を行いました。グループワークでは各分野の担当の考えが聞けてよかった、防災と福祉を併せて考えること、連携が大切と感じたなどの感想をいただきました。継続的な話し合いの必要性を感じつつ、自助意識を高める取り組みも検討していかなければならないと感じています。ご参加いただきありがとうございました。



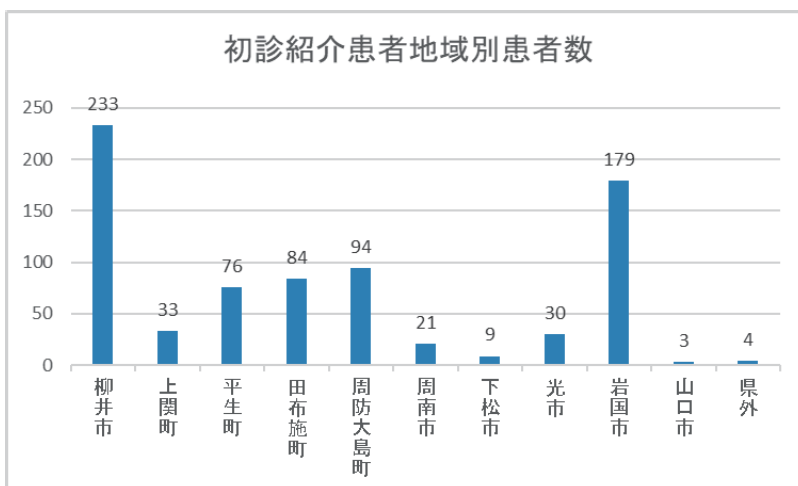
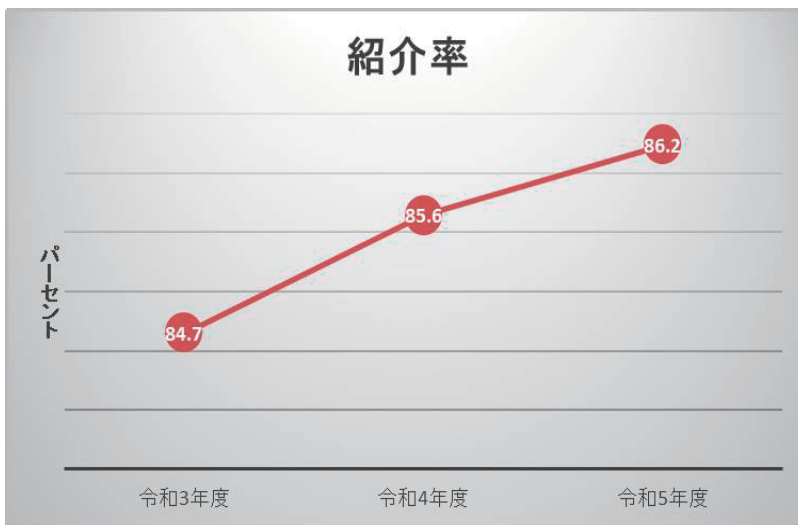
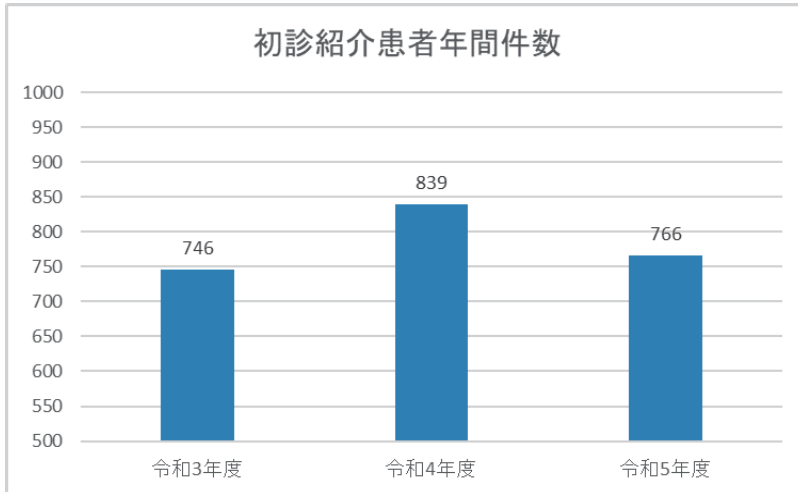
紹介患者さまについて

開業医の先生方におかれましては患者さまをご紹介いただきありがとうございます。

2023 年度の紹介患者数についてご報告させていただきます。

昨年同様透析患者様の日帰り PTA 紹介が増えております（初診・再診含む）。

今後も引き続きご紹介の程、よろしく願いいたします。また、ご紹介の際には事前予約にご協力をお願いいたします。



認知症疾患医療センターコーナー

第9回 認知症疾患地域医療連携協議会

来る令和6年3月13日に第9回認知症疾患地域医療連携協議会が当院にて開催されました。今回の協議会では実績報告や各市町の報告、宮地医師による「アルツハイマー病の新規治療薬～レカネマブ（レケンビ®）～」についての情報提供、山口県柳井健康福祉センター 保健師による「能登半島地震から学ぶ災害対応 災害派遣時の状況等」について被災地派遣時の様子や経験を情報提供していただきました。

レカネマブは、2023年12月20日に保険適用されたばかりの新たな認知症治療薬です。令和6年2月20日に県内初となるレカネマブを使用した治療を当院にて開始しています。早期受診・早期診断を希望される方も増えてきており、レカネマブについての質問を受けることが増えてきています。受診希望等のご相談がございましたら地域医療連携室へお問い合わせください。

災害派遣時の実体験を踏まえた保健師による情報提供では、発災時の問題や課題などについてお話ししていただきました。発災直後は情報が錯綜しており状況把握が難しく隠れたニーズを掘り起こすことがとても大変で時間も人も足りないこと、我慢強いからか自ら発信することもなくまたお互い顔見知りで情報を掴んでいてもどのように動いたら良いのか分からない状況にあること、障害を持ちながらもなんとか生活が出来ていた人たちは災害という場面で生活できなくなること、自ら声を出さなければ埋もれてしまうため支援者側からのアプローチが大切と感じたことについて情報提供していただきました。



災害はいつどこで起きてもおかしくない状況です。各市町が災害に備えた準備を進めており、今回も参加市町には現時点での災害対策についてまとめていただきました。今後も引き続き災害について情報共有していければと思います。

今年度も認知症患者、そして認知症患者を支える家族支援に力を注いでいきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。認知症のある方でも安心して過ごしていける街になるよう尽力してまいります。



病院の統計

一般病床204床、療養介護病床76床

【紹介率】

単位：%

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
R4	86.7	90.9	79.6	79.4	87.0	88.1	79.6	90.2	83.1	89.5	84.5	86.3	85.1
R5	88.8	79.8	80.0	92.9	82.8	92.4	86.1	82.6	92.0	91.3	81.2	87.8	83.6

年 月	当院平均 患者数(人)			紹介患者数(人)
	入 院		外 来	
	一 般	療養介護		
R6.3	192.6	73.2	59.4	69
(R5年度計)	189.6	74.8	61.4	574

外来診療担当表

		月	火	水	木	金	備 考
内 科		—	まつもと のぶお 松本 信夫	—	まつもと のぶお 松本 信夫	まつもと のぶお 松本 信夫	要 予 約
	初 診	みやち たかふみ 宮地 隆史	ふくば ひろまさ 福場 浩正	にしがわ ともかず 西川 智和	やまさき まさみ 山崎 雅美	やまもと ゆみこ 山本優美子(隔週)	要 予 約
脳神経内科	再 診	いまむら えいじ 今村 栄次				やまもと ふみか 山本 史佳(隔週)	
	外 科	初 診	にしがわ ともかず 西川 智和	やまもと ゆみこ 山本優美子	みやち たかふみ 宮地 隆史	みやち たかふみ 宮地 隆史	ふくば ひろまさ 福場 浩正
再 診		ふくば ひろまさ 福場 浩正	—	いまむら えいじ 今村 栄次	にしがわ ともかず 西川 智和	やまさき まさみ 山崎 雅美	
腎 臓 内 科					ふくだ まさみち 福田 雅道		第 3 週
整 形 外 科					ふじの しゅう 藤野 修		第 1・2・4 週
循 環 器 内 科		みやもと しょうご 宮本 翔伍		きど ゆうき 木戸 佑基			
呼 吸 器 内 科			かわもと かずま 川本 数真	おぐり なおと 小栗 直人		わたり なおかず 渡 直和	
肝・胆・膵・消化器科		おおの あつし 大野 淳司					
糖 尿 病・内 分 泌 内 科						おおの ほるや 大野 晴也	
内 視 鏡		まつもと のぶお 松本 信夫		まつもと のぶお 松本 信夫		第1・3週 まつおか こうじ 松岡 功治	要 予 約
		まつおか こうじ 松岡 功治		まつおか こうじ 松岡 功治		第2・4週 やまね ひろまさ 山根 大寛	
皮 膚 科			(隔週) まつばら たいき 松原 大樹				
泌 尿 器 科		(隔週) いかわ ちやうすけ 岩根 亨輔					午後のみ
		しくま ひろゆき 志熊 紘行					

は招聘医師

令和6年4月1日現在

腹部救急診療

24時間365日体制で診療しています。

対象患者

激しい腹痛、心窩部痛、側腹部痛、腰痛、肛門会陰部痛、鼠径部痛、下血症例



救急担当医は次のようになります。(※時間外の体制)

	月	火	水	木	金	土	日
担当医	田所	松岡	松本(當)	竹本	当番外科医	当番外科医	当番外科医

※消化器外科医が病院内に24時間365日常駐しています。

CT・MRIの検査予約を受付けています

当院では、CT及びMRIの検査予約を行っています。下記の連絡先に予約を申し込んでください。放射線専門医による読影結果はFAX及び郵送にてお届け致します。撮影画像はCD-Rで患者様にお渡し又は郵送致します。(至急依頼の場合の検査報告は検査後2時間ほどで出ますのでFAX後、郵送致します。)

CT・MRIの予約受付先

国立病院機構柳井医療センター放射線科受付
担当者 山本(やまもと)

電話:0820-27-0211 内線538または229

※なお、FAXでの申し込み及びその他の診療予約については地域医療連携室へ申し込んでください

